

日時：2025年10月20日（月）

場所：広島大学ミライクリエ大会議室

研修内容：開会式・オリエンテーション

2025年10月20日（月）午前、広島大学ミライクリエ大会議室にて開会式およびオリエンテーションが実施されました。まず、JICA担当職員より開会の挨拶があり、研修の目的と全体スケジュールについて説明が行われました。その後、アジア、アフリカ、中南米など各国からの参加者が、所属、専門分野、研修への抱負について順に自己紹介を行い、続いて参加者と運営スタッフによる記念撮影が行われました。午前のプログラム終了後には昼食休憩に入り、参加者同士が食堂で食事をとりながら交流を深めました。全体として午前のプログラムはスムーズに進行し、参加者間の自己紹介や交流も活発に行われ、午後のプログラムに向けて良好な関係づくりが進んだと感じられました。午前の日程は以上のおり無事に終了しました。



午後はバングラデシュ、カンボジア、ヨルダン、キルギス、ラオス、モザンビーク、ナイジェリアからの研修生からの発表があった。15分のプレゼン、10分のQ and Aだったが、時間をフルに使ってディスカッションが行われていた。それぞれの研修生はそれぞれの国の教育課題に対する政策を中心に発表をされていた。黒田先生からは evidence base の政策の重要性を伝える一方で、必ずしも evidence base が機能していないことを指摘されていた。また、吉田先生からは、各国の政策は素晴らしいもので、それが確実に実行されれば、課題は解決されるはずだが、それがうまく機能していないことを指摘されていた。政策がうまくいかない理由、どうしたら政策がうまく機能するのかを中心にディスカッションしてほしいと伝えられていた。ウェルカムパーティーでは発表で伝えきれなかったフィードバックを個人個人でされていた。

